

道徳科学習指導案

平成29年6月9日（金）学習指導I （5の2教室）2年2組 指導者

I 主 題 いつも心にはれマーク

II 考 察

1 主題観

(1) 育まれる主な資質・能力の三つの柱

③学びに向かう力・人間性等

素直に自分の過ちを改めようとする態度

①知識・技能

素直に自分の過ちを改めることの大切さ
についての理解

②思考力・判断力・表現力等

素直に自分の過ちを改めることについての
自己の考え

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

A 主として自分自身に関すること

2 正直，誠実〔第1学年及び第2学年〕

うそをついたりごまかしをしたりしないで，素直に伸び伸びと生活すること。

(3) 主題や教材の価値

本主題は「正直，誠実」の内容項目のうち，素直に自分の過ちを改めることの大切さについて考える学習である。その価値は以下のとおりである。

明るいいで楽しく生活するためには，素直に自分の過ちを改めることが大切である。なぜなら，いけないことをしてしまったときに，素直に自分の非を認めず，うそをついたりごまかしをしたりしてしまうと，自分自身の中に後悔や自責の念を生み，暗い心になってしまうからである。しかし，過ちは誰にでも起こり得ることではあるものの，人間は，自己中心的な思いからなかなか自分の過ちを改めることができないこともある。だからこそ，その思いを乗り越えて，素直に自分の過ちを改めようとする態度を養うことが大切となる。

子どもたちの多くは，いけないことをしてしまったときには素直に自分の非を認め，謝ることが大切であることを理解している。しかし，実際にその状況に陥ると，自分の非を認められなかったり，責められることから逃れようとしていたりして，なかなか謝れない子どもも見られる。このような子どもたちが，素直に自分の過ちを改めることの大切さについて考えることは，人間の弱さを乗り越えて，素直に自分の過ちを改めようとする態度を養うことにつながる。

そこで，教材「お月さまとコロ」（わたしたちの道徳1・2年）を使用する。教材の内容及び価値は，以下のとおりである。

主人公のコロは、友達のギロに悪いことを言って、怒らせてしまう。なかなか謝ることができず、暗い心でいたコロだったが、お月さまと話をすることで、明るい心で楽しく生活したいという思いを強くし、ギロに謝ろうと決心する、という内容である。

これらの主人公の姿から、子どもたちは、いけないことをしてしまったときに、なかなか自分の過ちを改めることができない人間の弱さに気付くことができる。そして、その弱さを乗り越えて、素直に自分の過ちを改めることの大切さについて考えることができる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、2年「いつでもしょうじきに」での、うそをつかずに正直な心で生活することの大切さについて考える学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちはこれまでに、1年「ひとのせいにする」とにおいて、失敗をごまかさずに正直な心で生活することの大切さについて考える学習をしてきた。この学習で明らかになった子どもたちの実態及び本主題を進めるにあたっての指導方針は、以下のとおりである。

- ① 明るい心で楽しく生活するためには、失敗をごまかさずに正直な心で生活することが大切であることを理解してきている。このような子どもたちが、明るい心で楽しく生活するためには、素直に自分の過ちを改めることが大切であることを理解できるように、素直に謝れなかった主人公が友達に謝る決心をすることができた理由を問う学習課題を設定する。
- ② 失敗をごまかさずに正直な心で生活することについて、自分との関わりで、多面的・多角的に考えることができてきている。このような子どもたちが、素直に自分の過ちを改めることについて、自分との関わりで、多面的・多角的に考えられるように、友達に謝れずに迷っているときと、お月様に促されて歌っているときの主人公の気持ちを話し合う活動を設定する。
- ③ 失敗をごまかさずに正直な心で生活しようとする態度を養ってきている。このような子どもたちが、素直に自分の過ちを改めようとする態度を養えるように、学習したことを基に今までの自らの生活を振り返り、これからしていきたいことを記述する学習プリントを用意する。

Ⅲ 指導計画 ※Ⅲについては、別紙参照

Ⅳ 本時の学習

- 1 ねらい 素直に謝れなかった主人公が友達に謝る決心をすることができた理由について話し合うことを通して、素直に自分の過ちを改めることの大切さに気づき、実践しようとする態度を養う。
- 2 準備 電子黒板 場面絵 役割演技の道具 学習プリント
- 3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
1 いけないことをしてしまったときの気持ちについて発表し合い、教材から、学習課題「なぜ、コロは迷っていたのに謝ろうという気持ちになったのだろう」をつかむ。	○自分の過ちを改めることについての自分の考えを自覚できるように、いけないことをしてしまった後の行為を問いかける。 ○教材「お月様とコロ」の、自分の過ちを改める

- ・いけないことをしてしまったら、ごめんなさいを言うよ。
 - ・コロは、迷っていてすぐに謝れなかったけれど、最後には謝ろうと決めたよ。
 - ・いけないことをしてしまったら、自分はずぐに謝るから、コロとは違うな。でも、謝れない気持ちもあるかもしれないから、すぐに謝るのは難しいかな。
- 2 学習課題の解決に向けて話し合う。
- ・お月様に言われて、歌を歌ったら明るい気持ちになったからではないかな。
 - ・確かに、謝れないと気持ちが暗くなってしまうときがあるな。だから、コロは謝ろうと思ったのかもしれないな。
 - ・謝れないときの顔が暗くて、コロは悲しい気持ちだったと思うな。でも、お月様に言われて歌を歌った顔は明るくて、明るい気持ちになったと思うよ。明るい気持ちがよいと思って、ギロに謝ろうと決めたのだよ。
 - ・すぐに謝るのは少し難しいかもしれないな。怒られるのは嫌だし、自分は悪くないと思ってしまうことがあるからだよ。
 - ・コロは、次はすぐに謝ると思うよ。明るい気持ちで生活したいから、謝れない気持ちに負けないで謝れると思うな。
- 3 今までの自らの生活を振り返り、これからしていきたいことを発表し合う。
- ・友達とけんかをしたときに、謝りたくないと思ってしまったことがあったな。コロと同じで暗い気持ちになっていたのかもしれないな。でも、その後、謝って気持ちが明るくなったよ。
 - ・自分がいけないことをしてしまったときに、謝りたくないなという気持ちになってしまうかもしれないな。でも、そのまま謝れないでいて、暗い気持ちでいるのは嫌だよ。明るい気持ちでいたいから、もし、いけないことをしてしまったら、相手にちゃんと謝れるようになりたいな。

ことについての主人公の行為を把握できるように、電子黒板で教材を提示し、友達にいけないことをしてしまった後の主人公の行為を問いかける。

- 自分の過ちを改めることについての問題意識をもてるように、自分の過ちを改めることについての自分と主人公の行為の共通点や相違点と、その理由を問いかける。
- 学習課題に対する自分なりの考えとその根拠を明確にできるように、ペアで自分の考えを伝え合うよう促す。
- 学習課題に対する考えとその根拠を学級全体で共有できるように、それぞれが考えたことを発表し合うよう促す。
- 謝る決心をする主人公の気持ちを多面的・多角的に考えられるように、主人公が「友達に謝れずに迷っている」と「歌を歌っている」場面の役割演技を行い、気持ちを発表するよう促す。
- 素直に自分の過ちを改めることができない人間の弱さを理解できるように、素直に自分の過ちを改めることの難しさを問いかける。
- 人間の弱さを乗り越えて素直に自分の過ちを改めることの大切さについての理解を深められるように、これから、主人公がいけないことをしてしまった後の行為とその理由を問いかける。
- ねらいとする価値についての今までの自らの生活を振り返られるように、いけないことをしたときにすぐに謝れなかった経験を問いかける。
- よりよい自己の生き方についての思いや願いを明確にできるように、これからしていきたいことを学習プリントに記述するよう促す。

評価項目

素直に自分の過ちを改めることの大切さについて、多面的・多角的に考えたことや、自分との関わりで考えたことを、発言したり記述したりしている。〈発言・学習プリント〉

- これからの生活への意欲をもてるように、生活の見通しを具体的にもてた子どもを賞賛する。

指導計画（全1時間）

<p>目 標</p>	<p>明るい心で生活するために、素直に自分の過ちを改めることが大切であることを理解し、実践しようとする。</p>
<p>教材</p>	<p>お月さまとコロ（わたしたちの道徳1・2年）</p>
<p>主題 構成</p>	<p>お月様との会話をきっかけに、素直に謝れなかった主人公が友達に謝る決心をすることができた理由について、友達に謝れずに迷っているときの気持ちと歌を歌ったときの気持ちとを対比して考え、明るい心で楽しく生活するために、素直に自分の過ちを改めることの大切さに気付けるようにする。</p>
<p>事前</p>	<p>○いけないことをしてしまったときは、すぐに謝るよう話をする。</p>
<p>本時</p>	<p>○いけないことをしてしまったときの気持ちについて発表し合い、教材から、学習課題「なぜ、コロは迷っていたのに謝ろうという気持ちになったのだろう」をつかむ。</p> <p>○友達に謝れずに迷っているときの気持ちと歌を歌ったときの気持ちとを対比して、学習課題の解決に向けて話し合う。</p> <p>○今までの自らの生活を振り返り、これからしていきたいことを学習プリントに記述し、発表し合う。</p>
<p>事後</p>	<p>○自分のいけなかったことを素直に認め、謝ることができた子どもを賞賛する。</p>
<p>他の 教育 活動 との 関連</p>	<p>・日常生活において、友達が傷つくことを言ってしまった際に、友達に謝る場面。</p>